

居安思危 vol.7

平成 26 年 12 月 19 日
大阪府立大手前高等学校
保健部 大川 香理

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し

(出典「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」)

12 月に入った途端に寒くなり、年末に向けて寒さが一層きびしくなりそうですね。これからの季節はクリスマスやお正月で家族や友だちと一緒に過ごす機会も多いことと思います。特にお正月は家族や親戚と集うよい機会です。そんな機会にこそ「居安思危（こあんしき）」の気持ちを思い出し、防災について話し合ってみましょう。



11月13日に行われた防災講演会の感想文を読ませていただきました。代表的なものを下に挙げました。

- ★ 今まで震災は他人事だと思っていたけれど、今回の話を聞いて我が事として考えさせられた。
- ★ ニュースや報道では知っていたけれど、実際に被害に遭われた方の話を聞いて身近なことに感じた。
- ★ 遠くはなれた東北の出来事であまり実感がなかったが、現実起きたことなんだと改めて実感した。
- ★ 家族でご飯を食べたり、友だちと一緒にいられることに感謝したい。
- ★ 今後 30 年の間に 70% の確率で来るといわれている南海トラフ地震に備えておく必要があると思った。
- ★ 家族でもう一度地震時の対策について話し合っておきたい。



多くの人が講演を聴いて、東日本大震災について今までより実感を持って「我が事」として捉え、同時に今の自分たちの幸せを再認識し、当たり前だと思っていたことが決して当たり前ではないのだということに気づいたと書いてくれました。また、震災後、頻繁に報道されるようになった南海トラフ地震への備えや防災意識の向上を図る大切さを感じ、家族と共有しようと考えた人も多数いました。

「防災」というと、「何かしなくては!」と特別な気持ちになりがちですが、実は普段からしていることや特技や技能が役に立つことも多いのです。片岡先生にあとから聞いた話ですが、震災後すぐに津波で壊れてしまった冷凍倉庫から沢山の魚が持ち込まれたそうです。大量のマグロやブリが丸のまま届いて一瞬「どうしよう!」と思ったそうですが、そこは海の町。避難所内の漁師さんたちがすばやく魚を捌いて、炊き出しに利用することができたそうです。また、避難直後に避難していった学校で気仙沼向洋高校の機械技術科の先生が配線をして明かりを灯したり、ラジオやテレビを修理して使えるようにしたりして、寒く、暗い避難所の夜の不安が少しマシになり、情報を得ることもできたそうです。

避難所生活が長引いてくると避難所内でのストレスも大きくなっていくのですが、お互いに挨拶を交わしたり、各々の特技や技能を生かしたりすることで避難所が小さな町のようになり、円滑に運営することができたそうです。被災者だからとしてもらおうのを待つ



ではなく、自分たちも頑張るんだと行動することで、辛い現実から逃避するのではなく、立ち向かっていく気力もわいてきたのではないのでしょうか。

今回の講演は実際に被災された方からのお話ということもあり、身につまされて考えた人が多かったように感じます。2・3年生の人たちは1年生の時の防災講演でも同じ事を聞いたと思いますが、この「我が事として考える」ということが防災を考えるときにとても大切なことです。みなさん一人ひとりが「我が事」として震災を捉え、そのとき自分だったらどうするか、その場所にいたらどうしたらよいのかをイメージすることで、これから何をしたらよいのかが明確になり、備えることができるようになります。この通信を「居安思危（こあんしき）」とした意味もそこにあります。平時の今だからこそ、災害が起こることを想定し、考える。そうすることでこの先、もしもみなさんが災害に遭遇したときに、みなさん自身の命を守り、周りの人を助け、災害による被害を少しでも少なくすることにつながっていくのです。

もうすぐ短い冬休みになりますが、家族とゆっくり過ごせるときでもありますので、11月の防災講演会を思い出しながら、ぜひ家族で話しあってみてください。防災についてもっと詳しく知りたいと思った方は、防災について学べる場所を紹介しますので行ってみてくださいね。（行った人は「ちて探」に書いて報告してくださいね！）

この講演会をきっかけに、「防災」について考え、少しでも行動してもらえたらとてもうれしく思います。

➤ 詳しく学べる施設に行きたい人は

- ◆ 阿倍野防災センター 大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-13-23
地下鉄「阿倍野」(1・7号出口より西へ約300m)
- ◆ 津波・高潮ステーション 大阪市西区江之予島 2-1-64
地下鉄「阿波座」(7・10番出口より北へ約150m)
- ◆ 人と防災未来センター 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
阪神「春日野道」(南へ約850m)

➤ ちょっと遠出してもいいかなという人は

- ◆ 野島断層記念館 兵庫県淡路市小倉 177番地

➤ 過去の地震・津波の記念碑などを見たい人は

- ◆ 大地震両川口津浪記念碑 大阪ドーム前 大正橋のたもと
- ◆ 擁護霊 堺市 大浜公園内

➤ お家にいながら防災学習したい人は

◆ ネットで

- 「階上中学校・卒業式・答辞」で検索すると講演会でも見せていただいた階上中学校梶原裕太君の答辞を You Tube・PDF で見ることができます。
- NHK for school「学ぼう BOUSAI」
- NHK そなえる防災・シンサイミライ学校

◆ 読書で

- これからの防災・減災がわかる本(岩波ジュニア文庫)河田恵昭(著)
- 高校生災害と向き合う(岩波ジュニア文庫)諏訪清二(著)
- 地震イツモノート(ポプラ文庫)渥美公秀(著)
- 被災地デイズ(時代 QUEST)矢守克也(著)



覚えてくれましたか？
ホヤポーヤです！

岩波ジュニア文庫は本校図書館にあります。入った正面「369 社会福祉」の棚を見てね。